

アリシア サルデイニャ
プロフィール

Vocalist & Composer
Doctor of Philosophy in Culture & Civilization Sciences

歌手・作曲家

博士 総合人間科学研究科 神戸大学大学院

<http://www.lovealicia.com>

<http://twitter.com/aliciasaldenha>

<http://www.facebook.com/aliciasaldenhamusic>

<http://www.youtube.com/soulsistah100>

<http://pinterest.com/aliciasaldenha>

<http://www.myspace.com/aliciasaldenha>

Email: info@lovealicia.com

YouTube Music Video Link for Ooh Boy
<http://youtu.be/3ZD7K0LAQqU>

One sentence or catch copy of style:

funky soul with a twist of island sugar cane

アリシア サルデイニャ

アリシア・サルデーニャはトリニダード・トバゴ共和国生まれ。カリブの島テイストのファンキー・ソウルという彼女独特の持ち味で日本で人気を獲得してきた。独特のバックグラウンドを持ち、一般的な経歴からかけ離れたアリシアを定義づけたり、ひとつのジャンルにはめることは到底できない。でも、あえて例えるならば、ロバータ・フラック、ミニー・リパートン、リンダ・ルイスらの甘美な声、チャカ・カーン&ルーファスの生ファンク、エネルギッシュなステージが思い浮かぶだろう。カリブソ、ソカ、レゲエなど母国の文化、クラシック音楽やオペラへの愛、十代での演劇やミュージカルのキャリア、ヨーロッパでのジャズ、ソウルとの出会い、数カ国語に堪能な語学力というすべてがアリシアの国際的なキャリアと独自のボーカルスタイルにつながってい

る。

デビュー・ソロ・アルバム『Dance with the Sun』はアリシアのすべての経験とこれまで受けてきた影響がオリジナルの楽曲に凝縮された集大成だ。アリシアは、レコード会社やスポンサーの支援もなく、自らの蓄えをかき集めた資金で単独ニューヨークに赴き、才能あふれるミュージシャンや[Radian Record](#)の著名なプロデューサー、[アンドリュー・フェルス](#)と共にレコーディングを行う。収録曲はファンキー・ソウルからファンキー・レゲエまで、その甘美でソウルフルな歌声で命を吹き込んでいる。カーペンターズの「遥かなる影」以外のすべての曲をアリシアが作曲し、共同プロデュースも手がけている。またアルバムからのファースト・シングル『Ooh Boy』プロモーション・ビデオには長編映画監督ザック・バーニーを起用。ロマンティックなレゲエのメロディーにのせた英語と日本語のユニークな歌詞で、ライブではオーディエンスがとても盛り上がる曲だ。

アルバムにはそうそうたるミュージシャンが参加している。フレッド・ウェルズリー、JB's、Groove Collectiveとツアーを行い、グラミー賞にノミネートされたピアニスト兼作曲家であるバーニー・マッコールがキーボード。ギターにはマルチな楽器奏者、作曲家、アレンジャーであるゲイブ・クミンズ。ミシェル・ンデゲオチェロと長年演奏してきたマーク・ケリーがベース。ドラムにはソウル・ウィリアムス、リズ・ライトと共にレコーディング、ツアーを行ったクリス・エドルトン、以前フェラ・クティと活動していたカレタがパーカッション、そして現在ホセ・ジェイムズと精力的にツアーやレコーディングを行う黒田卓也がトランペットを担当。このアルバムは、編集やエフェクトを抑えた作り込みすぎない有機的でダイレクトなサウンドのスタジオライブ収録に仕上がっており、ミュージシャン達は真骨頂を発揮している。

このアルバムは、2011年9月発売のCD『Rose』でのコラボレーションの成功の後に製作された。『Rose』はニュージャズグループ、[indigo jam unit](#)の1970年代のレアなカバー曲集でアリシアが全曲を歌っている。インディーズアルバムとしてビルボードジャパンのTop 100に7週連続でランクイン、Top50入りもはたす。また、Tokyo Jazz Notes

Album 2011にも選ばれている。完売のビルボードライブ大阪を含む国内ツアーは、アリシアにとって大きな経験になり、また多くの人に知られることにもなった。これ以前にも、アリシアは伝説のベーシスト、のオリジナルメンバー、ポール・ジャクソンとも日本で共演している。

アリシア・サルデーニャはこれらまたとないチャンスを生かし、ボーカリストしてのみならず、作曲家、共同プロデューサー、マネージャーとしての才能を披露している。アリシアは大変な苦勞をして調達した資金でレーベルJem Adar Musicから『Dance with the Sun』を発売。しかし実はこれはアリシアが手がける数々のプロジェクトのほんの1つでしかない。最初は大学で勉強するために来日し、音楽教育の博士号、文化および文明研究でPhDを取得。大学に通いながらアリシアは100曲以上の多様なスタイルの作曲を行ってきた。近日中にはジャズアルバム、さらにソウル、ファンクのリリースを計画中。

彼女はソウルのシンガーソングライター、バンドリーダーとして、クラシックソウル、ジャズ、ファンク、レゲエのほか、オリジナル曲も日本各地で演奏している。彼女のショーは躍動感とエネルギーに満ちあふれる。バンドメンバーは、平岡 タカノリ(Drums)、jaz'pressoの荻野哲史(Bass)、Daioh (Guitar)、Zardの大楠雄蔵(Keys)、村治進(Steelman)、indigo jam unitの笹井BJ克彦(Bass)、遠藤真理子(Sax)、中島岳(Guitar)、jaz'pressoの増田みずほ(Keys)、関西トップクラスのミュージシャンだ。

さらに、国際的ミュージシャンのボビー・リケッツ(Bobby Ricketts・デンマーク)、エズラ・ブラウン(Ezra Brown・アメリカ)、黒田卓也(アメリカ)の来日中に、自身のバンドに招いて頻繁に共演。最近では日本のベイシスレコード契約アーティストnu jazz bandやindigo jam unit、そして伝説的ファンクベーシストでヘッドハンターズ (the Headhunters) の結成メンバーであるポール・ジャクソン(Paul Jackson)ら、日本および世界の一流アーティストとも共演するなど、彼女の活動はさらに広がっている。

Discography

- *Love & Unity* - Alicia Saldenha and Artists in Japan for Haiti (Single. Shalestone/Jem Adar Music. Jan. 2013)
- *Dance with the Sun* - Alicia Saldenha (CD. Jem Adar Music. June 13, 2012)
- *Ooh Boy* - Alicia Saldenha (EP. Jem Adar Music. Digital Release Feb. 22, 2012)
- *Rose* - indigo jam unit feat. Alicia Saldenha (CD. Basis Records. September 2nd, 2011)
- *Sounds for Pray* - Mizuho Masuda (Charity Single for Tohoku, Japan. July 2011)